

#編集後記 「現在」という贈り物

今年もクリスマスツリーやイルミネーションが華やぐ時期となりました。

大切な人へのクリスマスプレゼントをどうしようか、頭を悩ませる人もあるでしょうね。

この「**present**」という英単語。ご存知の方も多いと思うのですが、「**現在**」という意味があります。アメリカの歴史家のアリス・モース・アール氏の書籍の中の言葉です。



アヴェニール労務事務所 所長 柿野元博

<http://www.avenir-sr.jp>

E-Mail avenir4you@gmail.com



Yesterday is history. Tomorrow is a mystery.
Today is a gift.
That's why it is called the present.

(訳) 昨日はヒストリー、明日はミステリー。
今日という日は贈り物。
だから現在をプレゼント(**present**)と呼ぶのです。

Alice Morse Earle 著

「Sun Dials and Roses of Yesterday
: Garden Delights.」より (1902年)



では「現在」はどこからの贈り物？やっぱり神様からでしょうか？

僕は、「過去」からだと思うのです。過去の人、例えば先祖や両親がいたから現在の自分がある。

僕自身は、とんでもなく不器用だし、体も小柄だし体力ありません。(>_<)

おまけに高所恐怖症だし、閉所恐怖症だし、方向音痴だし、血を見たら失神しそうになります。

僕が「はじめ人間ギャートルズ」の時代に生きていたら、きっとマンモスに蹴散らされ

真っ先に淘汰されていたような人間。昭和のアイドル風に言えば、「マンモスかなビー」です。

でもご先祖様はそんな時代も生き抜いた。氷河期や石器時代や竪穴式住居の時代も生き抜いた。

幾度となく天災も、新型コロナよりもひどい疫病も、武器を持って戦いに参加したこともあったでしょう。

そんなご先祖様が、それぞれの時代を生き抜いてくれたおかげで、今、自分がいる。

なんとありがたいこと！なんというラッキー！早い話が「マンモスうれビー」！(^o^) /

でも僕だけではありませんよね。現代に生きる全ての人が、頑張り屋さんの遺伝子の持ち主のはず。



生きてる
だけで
丸儲け～



さんまさん
ええこと
言いはる

毎年、年末に「新語・流行語大賞」が発表されますが、今年ノミネートされた言葉の中に「親ガチャ」という言葉があるようです。ガチャガチャのように親や生まれた家庭環境は自分で選べないという意味だそうですが、そんな言葉が流行ったのかと思うと、ひとりの親としては心が痛みます。

でもね。「現在」を作るのはご先祖様や両親や環境だけではありません。

今月19日に引退を発表したサッカー元日本代表の**大久保嘉人選手**は、「**20年間、苦しいことも楽しいことも嬉しいこともいっぱいありましたが、苦しいことが一番多かったかもしれません。しかしそれが自分を強くしてくれたと思っています。**」とコメントされました。

大久保選手のコメントを聞いて、「**現在**」の自分は「**過去**」の**自分からの贈り物**でもあるのだと僕は感じました。

逆にいうと、それは「**現在**」の自分が、「**未来**」の自分にプレゼントを贈ることができるということ。

苦しいからと、恵まれない環境だからと、あきらめないで目の前の「**現在**」という時を大切に生きてほしい。

それが、きっと**未来の自分に「present」を贈る**ことになるのではないのでしょうか。



政府は19日、過去最大となる経済対策を閣議決定しました。

新型コロナウイルス禍で疲弊した経済を下支えする各種給付金に加え、中長期の経済成長を牽引するデジタル化や経済安全保障の強化など、さまざまな事業が盛り込まれたようです。

次の世代にどんな「**present**」を残すのか、それは今の僕ら大人の責任。

頑張る人が報われる社会にしなくてははいけませんね。がんばろう！日本！です。(^_^) v



よろしく
お願い
しマンモス

アヴェニール労務事務所
未来は変えられる！ **avenir**